

# 上映会「Escape Over The Himalayas ～ヒマラヤを越える子供たち～」

## &中島健蔵氏の写真とお話



この度、“Escape Over The Himalayas ～ヒマラヤを越える子供たち～”上映、及び、中島健蔵氏をお迎えして、ご自身で撮られた写真のスライドショーとお話しをして頂くこととなりました。激動の時代の今、日本でも多くの問題に直面しております。

人権、環境、教育、信仰などの問題を抱えるチベットのことはこれからの日本にも大きく影響してくるかと思えます。短編ドキュメンタリーフィルム、写真、お話を通して少しでも多くの方に"チベット問題"を知って頂き、"心の豊かさ"や"本当の幸せ"、"平和"とは何かと考える機会になればと願います。

清国中国系チベット（1949年以前）



### チベット・・・

ヒマラヤ山脈の北側に広がる、平均海拔4,500mの「世界の屋根」と呼ばれるチベット高原で、牧畜や農耕をなりわいとし、主に仏教を信仰する「チベット人」が600万人ほど暮らしています。そのほとんどが、かつてラサを都とする独立国「チベット」でした。

今、チベットという国はありません。

1949年、日本の東隣りに中華人民共和国という国ができ、圧倒的な武力でチベットは陥落。チベット自治区と四川省などに組み入れられ、現在では中国の一部になっています。

■日時 2008年6月7日(土曜日) 13:00～15:00  
■会場 黒潮町保健福祉センター(大方庁舎前) 2階ホール  
■入場料 無料

主催: Natale Music & Books (問い合わせ: ナタリ 伊知子 090-2190-2484 e-mail: kochibet@hotmail.co.jp)

共催: 特定非営利活動法人高知県西部 NPO 支援ネットワーク

# Escape over the Himalayas

The children of Tibet on thier way into exile

標高6,000メートル、

子供たちは命がけてヒマラヤを越える。  
この尾根の向こうに、未来があると信じて。

ヒマラヤを越えて亡命するチベット難民の子供たちを追った珠玉の短編ドキュメンタリー

## Escape Over The Himalayas ～ヒマラヤを越える子供たち～

1950年代に始まった中国によるチベット侵攻。1959年、インドへと亡命したダライ・ラマ法王の後を追って15万人にのぼる難民がチベットから脱出してきました。

現在も尚、毎年数百人の子ども達が親元を離れ、4,000m級のヒマラヤを着の身着のまま徒歩で越え、数週間歩き続けてインドへと亡命してきます。

彼らは何故、命を懸けてまで国境を越えるのでしょうか？

短編「Escape Over The Himalayas ～ヒマラヤを越える子供たち～」は実際の亡命者に同行し、その姿をとらえた感動のドキュメンタリーフィルムです。

雪のヒマラヤを越える5人の子供を含む10人の亡命者たちと、グリーンターラー菩薩に旅の安全を祈り、彼らを命がけて導くガイドの姿を描いています。

<http://www.tsg-kiku.com/eoth/index.html>

## 中島健蔵 氏

1959年、高知県高知市に生まれる。写真家。

2004年～2005年西チベットを踏破。

高知新聞で” 中華人民共和国・シルクロードとチベットの旅日記”を連載。

2008年6月7日高知市枳形にある「称名寺」にて行われる姉妹プロジェクト「チベット・チベット」ノンフィクションロードムービー上映会でもゲスト出演。

当日は写真展にあわせてトークがあります。

[http://www.geocities.jp/japan\\_kenzo/](http://www.geocities.jp/japan_kenzo/)



高知県黒潮町

